

IV. 高まる自助努力志向と追加準備意向

①公的保障に対する期待意識、生活保障に対する充足感が低下する中、「自助努力志向」が増加し、「公的保障充実志向」が減少

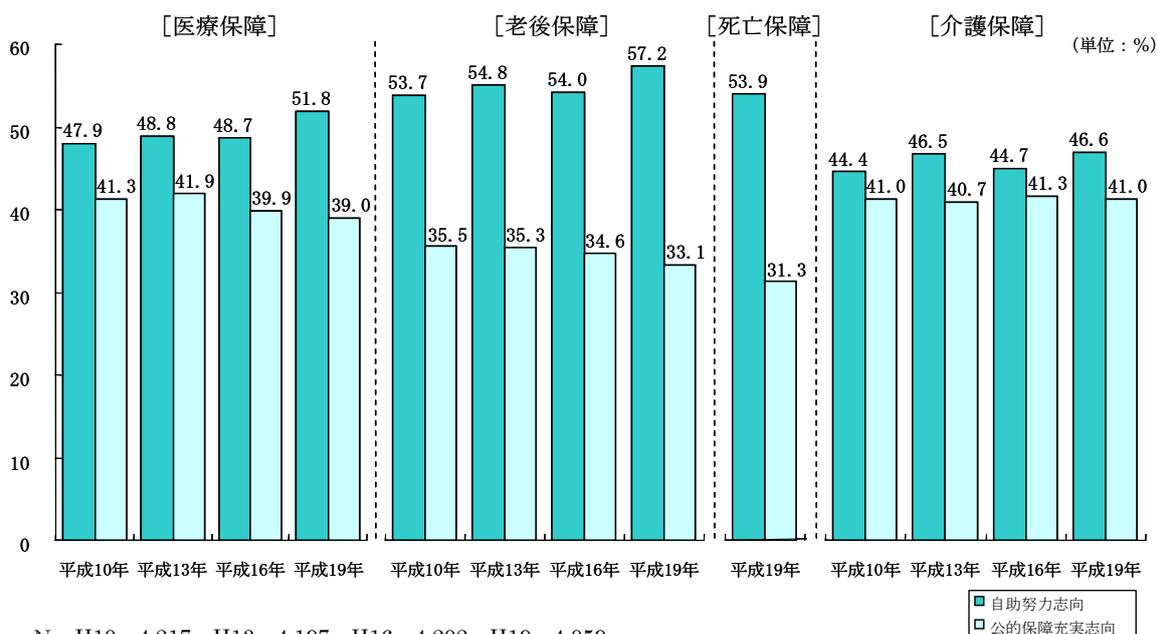
今後の生活保障準備についての考え方として、公的保障の一層の充実を志向するのか、自助努力を志向するのかを尋ねた。

「公的保障充実志向」・・・自助努力で準備していくよりは、今より高い保険料や税金を払ってでも公的保障を充実してもらいたい
 「自助努力志向」・・・公的保障の充実のために今よりも高い保険料や税金を払うよりは、自助努力で準備していきたい

その結果、「自助努力志向」は、医療保障で51.8%、老後保障で57.2%、死亡保障で53.9%、介護保障で46.6%といずれも「公的保障充実志向」を上回っている。

前回と比較すると、「自助努力志向」が増加している。

図表 10 生活保障は公的保障充実志向か自助努力志向か



N : H10 4,217、H13 4,197、H16 4,202、H19 4,059

* 「死亡保障」に関しては平成19年より調査開始。
 * 保障領域毎に個別に質問した結果をまとめて掲載している。

②生活保障に対して「準備意向あり」が増加

生活保障のための経済的な準備を今後新たに行う意向があるかをみると、「準備意向あり」は老後保障（70.8%）と介護保障で（69.5%）約7割、以下、医療保障（64.5%）、死亡保障（58.9%）となっている。

充足感が低下し、自助努力志向が増加する中、「準備意向あり」が増加している。

図表 11 生活保障に対する今後の準備意向（「準備意向あり」の割合）

（単位：%）

	医療保障			老後保障			死亡保障			介護保障		
	平成 16年	平成 19年	19年- 16年									
全体	62.2	64.5	↗ 2.3	68.9	70.8	1.9	53.3	58.9	↗ 5.6	66.3	69.5	↗ 3.2
20歳代	77.0	80.7	↗ 3.7	77.4	81.9	4.5	67.5	73.8	↗ 6.3	71.3	76.9	↗ 5.6
30歳代	75.1	77.9	↗ 2.8	86.6	88.1	1.5	67.1	74.4	↗ 7.3	80.9	82.2	↗ 1.3
40歳代	70.0	73.7	↗ 3.7	83.3	86.8	3.5	60.2	66.8	↗ 6.6	76.8	81.5	↗ 4.7
50歳代	60.6	62.8	↗ 2.2	70.6	69.3	-1.3	50.6	54.9	↗ 4.3	70.1	69.7	-0.4
60歳代	41.8	38.6	-3.2	40.6	38.5	-2.1	33.5	35.0	↗ 1.5	42.9	45.2	↗ 2.3

N：H16 4,202、H19 4,059

*図表中の○は全体に比べて統計的に有意に高いことを示し、↗は年次間で有意差があることを示している。

*保障領域毎に個別に質問した結果をまとめて掲載している。

③最も力を入れたい保障準備は、男性では「死亡保障」、女性では「医療保障」

医療保障、老後保障、死亡保障、介護保障の4つの保障領域のなかで、現在、最も力を入れたいと考えているのを見ると、男性では「死亡保障」(32.4%)、女性では「医療保障」(31.7%)が最も高い。男女間での優先すべき生活保障に対する意識の違いが顕著に表れている。

前回と比較すると、男性では「死亡保障」が4.8ポイント増加している。

年齢別にみると、男性では20歳代で「医療保障」、30～50歳代で「死亡保障」、60歳代で「老後保障」が最も高く、女性では50歳代を除く年代で「医療保障」が最も高いなど、年代による保障ニーズの違いを反映した結果となっている。

図表 12 最も力を入れたい保障準備

(単位：%)

		N	医療保障	老後保障	死亡保障	介護保障	特にな い・わか らない
男 性	平成19年	1,862	23.1	21.3	↗(32.4)	5.2	18.0
	20歳代	249	(34.5)	10.4	23.7	1.6	29.7
	30歳代	347	30.5	11.5	(44.4)	1.2	12.4
	40歳代	353	22.4	19.8	(41.9)	4.0	11.9
	50歳代	444	19.8	28.2	(31.8)	5.9	14.4
	60歳代	431	15.1	(30.6)	22.0	10.9	21.3
	(参考) 平成16年	1,856	22.6	21.0	27.6	5.6	23.2
女 性	平成19年	2,197	(31.7)	24.2	11.0	11.4	21.7
	20歳代	270	(35.9)	11.1	15.2	3.0	34.8
	30歳代	468	(41.0)	21.8	13.2	4.5	19.4
	40歳代	422	(36.7)	25.1	15.6	7.1	15.4
	50歳代	510	24.3	(37.1)	6.9	15.7	16.1
	60歳代	494	(24.1)	21.1	7.1	22.1	25.7
	(参考) 平成16年	2,346	29.2	26.3	9.6	10.9	24.0

* ○ は最も割合が高い保障領域を示し、↗ は前回から有意に増加していることを示している。

以上